

# 東口再開発の市民への周知等の状況について

東口再開発の見直しについて、方針や考え方、様々な利用シーンを市民に周知し、意見を伺うことを目的に、意見交換会や出前講座、タウンミーティングを開催しましたので、その実施状況について報告いたします。

これまでの市民への周知 延べ参加者数合計 約1,170名

## 1. 自治振興協議会後の再開発に関する意見交換会の実施状況

自治振興協議会後などにおいて意見交換会を開催しました。結果概要は、以下の通りです。

- (1)実施期間 6月24日～8月30日
- (2)実施場所 全18地区
- (3)参加者数 649名（市議会議員等の顧問含む） ※1か所あたり平均約36名

### (4)意見交換会内での主な意見や質問

意見交換会の中では、合計167件の意見と質問をいただいた。

[多かった意見・質問]

- ①事業計画全体に関して
  - ・総事業費や市の取得費用、補助金の状況に対する質問
  - ・施設のオープンによる賑わいの効果に対する質問
  - ・当初予定していた劇場ホールの今後についての質問
  - ・まちに開かれた施設として見直し内容への理解
- ②設備・機能について
  - ・市のホールの利用方法や機能についての質問
  - ・子どもの遊び場や商業施設などの機能への要望
- ③施設の管理運営
  - ・完成後に開催されるイベントの運営や維持管理に関する質問
- ④動線やアクセス方法
  - ・駐車場のあり方や再開発エリアまでのアクセス確保についての意見

### (5)アンケート結果（集計結果は、次ページを参照）

- ①市民理解の促進 「①分かりやすかった」及び「②一定程度は理解できた」の回答が、全回答者数434名中385名(約89%) となった。
- ②市民ニーズの傾向 再開発コンセプトを実現する12(+2)の利用シーンを選択肢として提示し、利用ニーズの傾向を調査した。
- ③自由記述の記載 185人(約43%)から256件の自由意見・質問をいただいた。
  - ・施設の早い完成と賑わい創出への期待
  - ・集客ができる施設、採算の取れる施設の希望
  - ・県外からの集客の必要性
  - ・機能面での希望(図書館、こども園、小中一貫校、商業など)

○各地区の状況

(開催日順)

地区	開催日	参加者 (名)	意見・ 質問 (件)
1 笹谷・大笹生	6月24日	28	8
2 吾妻	6月25日	37	12
3 蓬萊	6月27日	40	6
4 北信方部	7月2日	30	12
5 荒井・佐倉	7月5日	37	10
6 土湯温泉町	7月8日	27	10
7 飯野	7月10日	41	6
8 渡利	7月11日	39	12
9 吉井田	7月22日	29	9
10 松川	8月5日	38	11
11 杉妻	8月7日	18	7
12 信夫	8月8日	27	12
13 中央東	8月19日	29	18
14 立子山	8月24日	35	9
15 飯坂方部	8月25日	32	5
16 東部・大波	8月26日	36	11
17 中央西	8月29日	70	4
18 清水	8月30日	56	5
	合計	649	167
	平均	36	9

※中央西は、自治振テーマとの関連から自治振内で説明

## 《参考》意見交換会アンケート集計結果

回答者全体

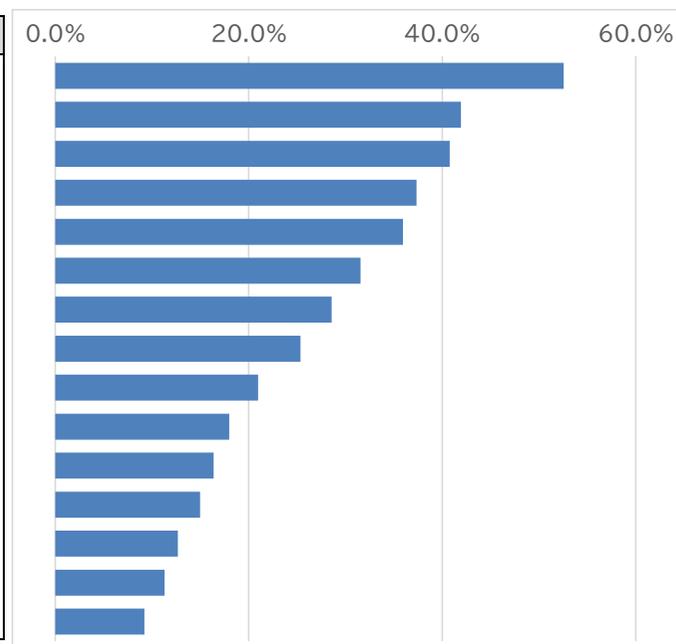
	参加者	1回平均	回答者数	回答率
18回	649	36.1人	434	66.9%

(1)今日の説明は分かりやすかったですか？

	①分かりやすかった	②一定程度は理解できた	③分かりにくかった	回答不明
回答数	70	315	17	32
回答割合	16.1%	72.6%	3.9%	7.4%

(2)東口再開発がオープンしたら、どんな内容で利用してみたいと思いますか？

選択肢	回答数(件)	回答割合
1 福島の食とお酒を気軽に楽しめる、横丁風の飲食店の利用	228	52.5%
2 気軽に立ち寄れてのんびりできる屋内広場の利用	182	41.9%
3 開放感があってくつろげる、オープンテラスを設置したカフェの利用	177	40.8%
4 音楽祭りや歌謡ショーへの参加	162	37.3%
5 日本、世界各地の名産品を展示する物産展への参加、入場	156	35.9%
6 映像技術を使った、演劇鑑賞など文化芸術の体験	137	31.6%
7 開放的で日常的に憩うことのできる大屋根広場や屋上広場の利用	124	28.6%
8 絵画、書道、華道、写真、盆栽などの展示会への参加、体験	110	25.3%
9 企業研修や団体の講習会、セミナーなどの主催、参加	91	21.0%
10 屋内で行うスポーツへの参加	78	18.0%
11 シンポジウムや立食パーティーの主催、参加	71	16.4%
12 家族(子供や孫など)が出演する学習発表会などの参加	65	15.0%
13 起業家やまちなかで働く人を応援する創造的ワーク・交流スペースの企画、参加	55	12.7%
14 農機具やスポーツ用品、レジャー用品などの展示即売会への参加	49	11.3%
15 その他	40	9.2%



(3)再開発について、もっと聞いてみたいと思いますか？

	もっと聞いてみたい	回答割合
回答数	76	17.5%

(4)自由記述

	自由記述人数	回答割合	自由記述件数
回答数	185	42.6%	256

## 2. 再開発に関する出前講座の実施状況

要請に応じた出前講座として、その時点での状況を説明してまいりました。結果概要は、以下の通りです。

これまでの延べ参加者数合計 322名

- (1)3～6月定例会議閉会まで 開催数 8回 参加者 154名 駅前通り商店街振興組合ほか  
(2)6月定例会議閉会～8月末まで 開催数 5回 参加者 168名 福島大学、東邦銀行ほか  
(3)いただいた主な意見等(抜粋)

- ①事業計画全体に関して
- ・早く再開発を進めていただき、駅前に人の流れを作ってほしい
  - ・ワクワクするようなものが見えない、じっくりと時間をかけるべき
  - ・人口減少が進む中でも、経済波及効果は持続的に続いていくのかが不明
- ②設備・機能について
- ・便利さだけでなく歩いてみたいと思えるような仕掛けにしてほしい
  - ・まちなかで、休むためのベンチがほしい
  - ・きれいでデザイン性のあるトイレを整備することで人が集まる
- ③施設の管理運営について
- ・運営が重要になるので、常にブラッシュアップしていくことが必要

## 3. 再開発に関するタウンミーティングの実施状況

公募により、タウンミーティングを開催し、意見交換を行ってまいりました。結果概要は、以下の通りです。

これまでの延べ参加者数合計 196名

- (1)3～6月定例会議閉会まで
- ①2月17日(土)開催 参加者 100名
  - ②3月23日(土)開催 参加者 36名
  - ③4月27日(土)開催 参加者 30名
- (2)6月定例会議閉会以降
- ④8月28日(水)開催 参加者 30名
- (3)参加者の属性(全4回)
- ①性別 男性 131名 女性 65名
  - ②年代 10代 20名 20代 44名 30代 24名 40代 20名  
50代 11名 60代 30名 70代以上 25名 未回答 22名

- (4)いただいた主な意見等(抜粋)

- ①設備・機能について
- ・老若男女幅広い世代が利用できるようなところがほしい
  - ・企業と学生と行政のマッチングをする場があるとよい
  - ・生活を豊かにするための商業施設や福祉施設が必要
  - ・温泉を活かした足湯や、円盤餃子を食べられる店を集約してはどうか
  - ・アニメのフェスのようなものを継続的に開けるとよい
- ②まちづくり全般  
(東西一体のまちづくり)
- ・駅周辺に仙台からも人を呼べるアミューズメント性の高いものを
  - ・小・中・高校生のコンクールを開催して、まちなかのアイデアをもらう
  - ・外国人も来たくなる、通過でなくて目的地になるようなまち

○タウンミーティングへの年代別参加割合

